

## SHISEIDO MEN アルティミューン パワライジング セラムユーザーインタビュー

### ■AI パネル③

高橋 (24) / 地方公務員

- 属性： 栃木県宇都宮市。市役所勤務。独身寮住まい。
- 美容タイプ： 美容液初心者
- 購入チャネル： 百貨店オンライン
- 購入の動機： 髭剃り負けによる肌荒れが悩み。職場の尊敬する先輩から「いい男の嗜み」と教えられ、勇気を出して初購入。
- 現状： 初めての高級美容液に緊張したが、夕方の肌のテカリが抑えられるのを実感。反町さんの「男の強さ」を感じる世界観に惹かれ、毎日欠かさず使用している。

### <結果サマリー>

「失敗したくない」理系大学生が、就活の清潔感を確約するためにエビデンスへ投資した、合理的「防衛」

#### 1. 美容についてのこだわり

対象者は宇都宮市役所に勤務する24歳の公務員。窓口業務で市民と接する機会が多いため、相手に不快感を与えない「清潔感」を身だしなみの最優先事項としている。しかし、毎朝の髭剃りによる肌の赤みや夕方のテカリが「自分を管理できていない」という感覚に繋がり、鏡を見るたびに深い憂鬱を感じていた。彼にとっての美容は、単なる外見の追求ではなく、社会人としての「誠実さ」を維持するための切実な手段である。

**2. 普段のスキンケアと目指す肌** 以前は安価なオールインワンを使用していたが、現在は資生堂メンのライン使いを基本としている。対象者が理想とするのは、トラブルに左右されない「動じない肌」である。これは単なる美肌ではなく、仕事でミスがあっても疲れを見せない「タフさ」や「仕事ができる男の余裕」の象徴と捉えられている。自分の内面にある「しっかりしていきたい」という意志が、肌を通して「清潔感あるな」と無意識に伝わる状態を満足の基準としている。

**3. 現使用美容液購入経緯** 尊敬する先輩から「いい男の嗜み」として投資を勧められたことが決定打となった。1万円を超える価格に驚きつつも、「中途半端なものを買って失敗したくない」という心理が働き、反町隆史氏の広告が示す「強そうな」世界観に確信を得て購入に至った。対面での購入に気恥ずかしさを感じ、百貨店オンラインを選択した点に、美容液初心者のリアルな心理が表れている。自分を変えるための「先行投資」としての決意表明であった。

**4. 現使用美容液使用実態と評価** 高価な製品ゆえに「1滴も無駄にしたくない」と、2プッシュを極めて丁寧に馴染ませている。夕方のテカリが抑えられ、窓口で「自信を持って相手の目を見て話せる」ようになったことに最大の価値を感じている。対象者にとって本製品は、肌を整える以上に「自分を律している実感」をくれる「装備」であり、朝のケアが仕事へのスイッチとなっている。価格面での継続への不安から満足度は「4」とするが、製品への愛着と信頼は極めて高い。

**5. 現使用美容液 今後の使用意向** 今後の継続意向は最高評価の「5」であり、理想の自分に近づくための「欠かせないパートナー」と位置づけている。他社製品への興味はあるものの、アルティミューンがもたらした「意識の変革」への信頼が勝り、比較検討の対象にはなっていない。周囲の同年代が「最低限のケア」

に留まる中で、自分は一足先に「嗜みの領域」にいるという自負がロイヤリティを支えている。「使い続けさせてくれ！」という切実な要望は、若年層の強い継続意向の裏返しである。

## 1. 美容についてのこだわり

インタビュアー：

本日はお忙しい中、お時間をいただきありがとうございます。今日は高橋さんが普段お使いのスキンケアや、美容について感じていらっしゃることを自由にお伺いできればと思っています。正解はありませんので、高橋さんの率直な感覚を教えてください。まずは簡単に、高橋さんのことについて教えていただけますか？

**対象者：**あ、よろしくお願ひします。高橋です。今は宇都宮の市役所で働いていて、職場近くの独身寮で一人暮らしをしています。年齢は24歳です。

インタビュアー：ありがとうございます。お仕事、お忙しそうですね。高橋さんが、ご自身の「美容」や「身だしなみ」について、普段からこだわっていることや、気をつけていることはありますか？スキンケアに限らず、何かあれば教えてください。

**対象者：**こだわり、というほど大層なものはないんですけど……。でも、やっぱり清潔感だけは失わないように、とは親からも言われてきましたし、自分でも気をつけています。公務員という仕事柄、窓口で市民の方と接することも多いので、相手を不快にさせない程度の身なりというか。髪型を整えたり、服にシワがないようにしたり、その延長線上で肌もガサガサだと良くないな、とは思っています。

インタビュアー：相手を不快にさせないための「清潔感」を大事にされているんですね。その「肌がガサガサだと良くない」と思い始めたのは、何かきっかけがあったんですか？

**対象者：**そうですね……。一番は、毎朝の髭剃りですね。僕は結構肌が弱いみたいで、剃った後がヒリヒリして、赤くなっちゃうことがよくあって。鏡を見るたびに「なんか痛々しいな」って。それがずっとコンプレックスというか、憂鬱だったんです。それで、少しでもマシになればと思って、去年の冬くらいから意識し始めました。

インタビュアー：毎朝の髭剃りの後の赤みが、鏡を見るたびに憂鬱だった、と。その「憂鬱」というのは、具体的にどんなお気持ちだったんでしょうか？

**対象者：**……なんて言うか、「自分をちゃんと管理できていない」感じがして。仕事はきっちりこなしたいタイプなんですけど、顔が赤らんで荒れていると、それだけで「疲れてるの？」とか「不摂生なの？」って思われそうで。窓口立つ時も、ちょっと自信が持てないというか、視線が気になってしまうんですね。

## 2. 普段のスキンケアと目指す肌

インタビュアー：

今の「自分を管理できていない感じがして自信が持てない」というお話、非常に印象的です。その状態を解消するために、今は朝と夜、具体的にどのようなステップでケアをされているのか教えていただけますか。まず、朝の洗顔後から順を追って教えてください。

**対象者：**朝は、まず洗顔料で顔を洗います。その後、資生堂メンの「ハイドレーティングローション」という化粧水をつけて、その次に今回買った「アルティミューン」の美容液を2プッシュくらい馴染ませます。それで終わりですね。

インタビュアー：化粧水の後にアルティミューン、という流れですね。では、夜はどうでしょうか？

**対象者：**夜も基本は同じです。お風呂上がりに化粧水をつけて、アルティミューン。ただ、夜は髭剃りをしない分、肌が落ち着いている気がするので、より「浸透してくれ」って思いながら丁寧に塗ってます。あ、それと週に1回くらいですけど、ドラッグストアで買った安いシートマスクをすることもあります。

インタビュアー：週に1回のシートマスクも取り入れているんですね。ちなみに、今使っている「ハイドレ

ーティング ローション」と「アルティミューン」以外に、以前使っていたものや、併用を検討したブランドなどはありますか？

**対象者：**以前は、それぞれドラッグストアで適当に買った、1,000 円くらいのオールインワンジェルを使っていました。何もしないよりはマシかな、くらいで。でも、やっぱり髭剃り負けは治らなくて……。

**インタビュアー：**1,000 円のオールインワンから、今のケアに変えられた。そうした今のケアを続けることで、最終的に高橋さんは「どんな肌」になりたい、あるいは「肌がどういう状態」であれば満足だと思われませんか？

**対象者：**うーん……。一言で言うと、「動じない肌」になりたいです。髭を剃っても赤くならないのはもちろんなんですけど、夕方になってもテカテカしてこないとか。窓口で市民の方と至近距離で話す時に、「この人、肌が綺麗で清潔感あるな」って無意識に思ってもらえるような。……なんて言うか、自分の内面の「しっかりしていきたい」という気持ちが、そのまま表に出ているような肌、ですかね。

**インタビュアー：**自分の内面の「しっかりしていきたい」という気持ちが表に出ている肌、ですか。「動じない肌」という言葉も出ましたが、それは高橋さんにとって、どんな強さを意味しているのでしょうか？

**対象者：**単に「ツルツル」とかじゃなくて、もっと「タフ」な感じ。仕事でちょっとトラブルがあっても、顔には疲れが出ていない、みたいな。やっぱり、憧れの先輩がまさにそういう感じで。肌がピシッとしてるんですよ。そういう「仕事ができる男の余裕」みたいなものが肌から伝わるといいな、と思っています。

### 3. 現使用美容液購入経緯

**インタビュアー：**高橋さんの仰る「動じない肌」や「仕事ができる男の余裕」、非常に具体的なイメージが伝わってきます。では、そんな理想に向けて今回「SHISEIDO MEN アルティミューン パワライジング セラム」を購入された経緯を詳しく教えてください。そもそも、この商品の存在を最初に知ったのはいつ、どのようなきっかけだったのでしょうか？

**対象者：**……一番最初は、CM やネットの広告だったと思います。反町隆史さんが出ているやつ。去年の秋か冬くらいかな。「男の肌の、未来を変える」みたいな雰囲気、正直「かっこいいな」って。でも、その時はまだ、自分には関係ない高いものだと思って、流して見ていただけでした。

**インタビュアー：**最初は「自分には関係ない」と流されていたんですね。それが、自分にとって「必要なもの」に変わったのは、何か特定の瞬間があったんですか？

**対象者：**はい。職場の尊敬している先輩と飲みに行った時です。その先輩、仕事もできるし、いつも身なりがピシッとしていて憧れなんですけど……。ふとした時に「高橋、肌荒れてるな。髭剃り負けか？」って言われて。

**インタビュアー：**先輩から肌の指摘があった、と。

**対象者：**そうなんです。「いい男の嗜みとして、肌もちゃんと投資した方がいいぞ」って。その時に先輩が「俺はこれを使ってる」って教えてくれたのが、アルティミューンだったんです。「これ一本で全然違うから」って。……正直、金額を聞いた時は「えっ、美容液に 1 万円以上も出すんですか？」って引きまされたけど（笑）。でも、あの先輩が言うなら間違いのないのかも、って。

**インタビュアー：**金額に引きつつも、信頼する先輩の言葉がきっかけになったんですね。そこから実際に「購入しよう」と決めるまで、何か他の商品と比較したり、調べたりはしましたか？

**対象者：**一応、ネットで「メンズ 美容液 おすすめ」とか「髭剃り負け 改善」で検索はしました。他にも有名なブランドとか、もう少し手頃なやつも出てきました。でも……結局、比較すればするほど、「中途半端

なものを買って失敗したくない」って思いが強くなって。

**インタビュアー：**「中途半端で失敗したくない」というのは、具体的にどういうことでしょうか？

**対象者：**今までの1,000円のジェルが効かなかったから、次に行くなら、もう「一番いいやつ」をいかないと意味がないんじゃないかって。安いものをいくつか試して遠回りするより、最初から「これなら絶対」っていう確信が欲しかったんです。それで、先輩も使っているし、あの反町さんのCMの「強そうな」イメージが重なって……「よし、一回勝負してみよう」って、百貨店のオンラインサイトでポチりました。

**インタビュアー：**迷った末に「一回勝負してみよう」と。ちなみに、なぜ実店舗ではなくオンラインだったんでしょうか？

**対象者：**……いや、やっぱり宇都宮の百貨店の化粧品売り場に、男一人で行くのは、まだハードルが高くて（笑）。何を喋ればいいのかわからないし、緊張しちゃうので。オンラインなら誰にも見られずに、じっくり説明を読んで買えるじゃないですか。届くまでは「本当にこれで変わるのかな」って、少しドキドキしてました。

#### 4. 現使用美容液使用実態と評価

**インタビュアー：**

現在お使いの「SHISEIDO MEN アルティミューン パワライジング セラム」について、具体的な使い方から詳しく伺わせてください。高橋さんがこの美容液を使う際、特に意識していることはありますか？付けるタイミングや部位、指や手の動かし方など、細かく教えてください。

**対象者：**……朝と夜、洗顔して化粧水をつけた直後に使っています。量はディスペンサー2プッシュ分をきっちり。手のひらに出して、まずは髭剃り負けが気になる顎周り、テカリやすい小鼻の脇に指先でトントンと置いてから、最後に顔全体をハンドプレスするように馴染ませています。指の腹を使って、下から上に少し持ち上げるような感じで。特に顎周りは、浸透して肌が強くなってくれ、って念じながら（笑）、優しく押さえるようにしています。

**インタビュアー：**なぜ、その「指先で置いてからハンドプレスする」といった付け方を意識されているのでしょうか？

**対象者：**……やっぱり、僕にとっては30mlで約1万円っていうのは、かなりの贅沢なんです。ドラッグストアのオールインワンなら10個買えますから（笑）。一気に広げると手のひらに吸収されちゃう気がして、1滴も無駄にしたくないっていうのが本音です。それに、丁寧に肌に触れることで「自分をちゃんと手入れしている」という実感が湧くんですね。

**インタビュアー：**なるほど。では、この美容液に対する今の満足度を5段階（5：大変満足～1：不満）で評価すると、何段階になりますか？

**対象者：**……「4」ですね。

**インタビュアー：**その「4」という評価の理由、特に満足している点と、逆に「物足りない」と感じる点があれば教えてください。

**対象者：**満足しているのは、夕方の肌の「持ち」です。今までは夕方になると鏡を見るのが嫌になるくらい顔がテカっていたのに、これを使うと、サラッとした清潔感がずっと続く。窓口で市民の方と話していても、自分の顔を気にせず集中できるようになりました。物足りない点は……やっぱり価格です。リニューアルしてさらに高くなったと聞きましたし、50mlだと1万5千円を超えますよね。独身寮住まいの僕には、正直、継続するにはかなりの勇気がいります。

**インタビュアー：**どんなタイミングに、何を感じた時にその「満足（あるいは不満）」を感じるのでしょうか。

**対象者：**満足を感じるのは、夕方、ふと窓口のパーテーションに映る自分の顔を見た時です。「あ、まだ大丈夫だ、清潔感が保てている」って安心するんです。逆に不満というか、溜息が出るのは、ボトルの残りが少なくなってきた、オンラインサイトで価格を確認する時ですね（笑）。「ああ、また1万円か……」って、現実に戻される感じがします。

**インタビュアー：**他にも好きな点や、気に入っているところはありますか？

**対象者：**香りがすごく好きです。シトラスの爽やかさと、どこか落ち着く感じがあって、朝の憂鬱な髭剃りタイムを「いい時間」に変えてくれました。あとはあの赤いボトルですね。洗面台にあるだけで、自分が一つ上のステージに上がったような、誇らしい気持ちになれるんです。

**インタビュアー：**ありがとうございます。では、高橋さんにとって、この「SHISEIDO MEN アルティミューン パワライジング セラム」の魅力とは、一言で言うとどんなことだと思われますか？

**対象者：**……（少し考えて）「自分を律している、という実感をくれること」だと思います。ただ肌を綺麗にするだけじゃなくて、あの赤いボトルを手にとって丁寧にケアをする時間が、自分にとって「よし、今日もシャキッと仕事をしよう」というスイッチになっている。コンプレックスだった髭剃り負けやテカリを抑えてくれることで、内面的な自信を支えてくれる……僕にとっては、戦うための「装備」のような魅力があります。

## 5. 現使用美容液 今後の使用意向

**インタビュアー：**

高橋さん、ここまで詳しくお話を伺いありがとうございます。いよいよ最後の質問になりますが、この「SHISEIDO MEN アルティミューン パワライジング セラム」を、今後も使い続けたいと思われますか？ 今のお気持ちを5段階（5：ぜひ使い続けたい～1：全く思わない）で教えてください。

**対象者：**……そうですね。お世辞抜きで「5：ぜひ使い続けたい」です。

**インタビュアー：**迷いなく「5」という評価ですね。その理由と、使い続けることで肌やご自身にどのようなことを期待されているのか、詳しく教えていただけますか？

**対象者：**一番の理由は、やっぱり「自分に自信をくれるから」です。単に髭剃り負けが治るとかテカリが消えるっていう表面的なことだけじゃなくて。これを使い始めてから、仕事に向かう時の自分の意識が、明らかに「シャキッ」と変わったんですよね。使い続けることで、いつか憧れの先輩みたいに、どんなに忙しくても疲れを顔に出さない、タフで余裕のある男になれたらいいな、と。自分の「理想の姿」に近づくための、欠かせないパートナーだと思っています。

**インタビュアー：**理想の姿へ近づくための、欠かせないパートナー。そこまで信頼されている中で、あえて伺いますが、他に今、興味を持っている美容液はありますか？もしある場合、どんな点に惹かれているのでしょうか。

**対象者：**……うーん、正直に言うと、SNSの広告で流れてくるような、もう少し手頃な価格帯のものは「もし効果が同じなら……」と一瞬頭をよぎることはあります。でも、結局アルティミューンがこれだけ自分の意識まで変えてくれたので、今は他のものを探すより、「これをどうやって買い続けようか」という方に頭を使っていますね（笑）。今のところ、具体的に「これに乗り換えたい」と思うものは一つもありません。

**インタビュアー：**ありがとうございます。それでは最後に、この「SHISEIDO MEN アルティミューン パワライジング セラム」に対して、何か要望があれば、どんなことでも構いませんので教えてください。

**対象者：**要望、ですか……。そうですね。中身には100%満足しているので、やっぱり「続けやすさ」を応援してくれるような仕組みがあると嬉しいです。例えば、詰め替え用（レフィル）をもっと大容量にして少しお得にするとか、あるいは僕みたいな20代の、背伸びして買っている層に向けた、継続特典みたいなものがあれば最高ですね。……でも、この赤いボトルの高級感も好きなので、安っぽくはなってほしくないんですけど。本当に、それくらいです。

#### <追加質問>

**インタビュアー：**高橋さんの周りのご友人や同僚の方など、同年代の男性たちは、スキンケアに対してどのような向き合い方をされているのでしょうか？高橋さんと同じように、こだわりを持って取り組んでいる方が多いですか？

**対象者：**……正直に言うと、僕ほど「高いもの」を使っている奴は、周りにはほとんどいないと思います。寮の同期なんかと話をしても、「洗顔の後に適当に安い化粧水を塗って終わり」とか、中には「水洗いで十分」という奴もまだ結構いますね。

**インタビュアー：**高橋さんのように、1万円を超える美容液を「装備」として取り入れる方は、まだ少数派なのですね。

**対象者：**そうですね。ただ、みんな「肌が綺麗な方がいい」とは思っているみたいです。マッチングアプリを使っている友人も多いので、写真映りを気にして「どこの洗顔がいいの？」って聞かれたりはします。でも、彼らにとってスキンケアは「清潔感の最低ラインを守るもの」であって、僕みたいに「自分を律する」とか「先行投資」という感覚までは、まだ持っていないんじゃないかな。

**インタビュアー：**高橋さんにとっての「投資」や「嗜み」という感覚と、ご友人たちの「最低限の身だしなみ」という感覚の間には、少し距離があるようですね。

**対象者：**ええ。僕も、あの先輩に言われるまではあっち側（最低限派）だったのでよくわかります。でも、一度アルティミューンを使って「夕方の自分が違う」というのを体験してしまうと、もう「ただ塗るだけ」には戻れない。周りがまだ気づいていない「いい男の入り口」に、自分は一足先に立っている……っていう、ちょっとした優越感みたいなものも、実は少しだけあったりします（笑）。